



医師会シンボルマーク

みんなの健康

No.265

5・6
月号

最新医療情報

二校を統合し 看護専門学校 を新設

横浜市医師会
聖灯看護専門学校

医療クローズアップ

世界に誇れる
日本の皆保険制度

みんなの健康 2018.5/6

◆こんな時どうする？
ばね指と言われました。

進化する病院
済生会横浜市東部病院

表紙イラスト/
元町公園のカクアジサイ (中区)

横浜市医師会のホームページをご覧ください。

横浜市医師会

検索

待合室

二校を統合し 看護専門学校を新設

横浜市医師会聖灯看護専門学校



横浜市医師会副会長
聖灯看護専門学校校長
鳥山 直温 先生

今年4月、新たに開校した「横浜市医師会聖灯看護専門学校」は、長い歴史と伝統のある二つの専門学校が統合されて誕生した学校で、520人の学生が鶴見区の新校舎で学び始めています。その運営に意欲を燃やす鳥山直温校長（横浜市医師会副会長）に同校の教育理念や特色、今後の抱負などを聞きました。

「愛語」と「知目行足」を教育理念としています。

今年の応募状況はいかがでしたか

鳥山 他地域の同様、横浜市内でも看護師が不足しており、看護学部を設ける大学や民間の看護専門学校が増えています。しかし、統合前の二校は30〜40年以上の伝統があり、市行政と連携して運営してきたので市民に信頼されています。「医師会立の看護学校の卒業生は患者さんに優しく、人間性が豊かで実力がある」という評判もいただいています。おかげで今年

も多くの方々に受験していただきました。

校名はナイチンゲールの「聖なる灯」から命名されたそうですが、学校の特長とカリキュラムについてお話しください

「横浜市医師会聖灯看護専門学校」は、どのような経緯で設立されたのですか

鳥山 横浜市には、菊名と保土ヶ谷に長い歴史のある医師会立の看護専門学校がありました。両校とも設備や校舎が老朽化して改修・改築する必要がありました。そこで

新設校の概要と教育理念についてお話しください

この際、両校を合併・統合して新校を開設することになり、4年前に開校準備室を設置。今年4月1日、JR鶴見線の鶴見小野駅前新築した校舎で開校式を迎えることができました。

鳥山 本校には修業年限3年の「第一看護学科」（全日制／3クラス定員120人）と、修業年限4年の「第二看護学科」（定時制／1クラス定員40人）があり、卒業までに必要な100単位（≡3015時間）を修得す

ると、看護師国家試験の受験資格を得ることができ、また、保健師や助産師養成機関の受験資格や、看護大学への編入学試験を受ける資格も得られます。

時代が求める質の高い看護師を養成することが目的の本校では、看護の基本は「患者さんに寄り添う」ことであり、常に慈しみの心から生じる穏やかな顔と優しい言葉で接することが大切だと考えています。加えて、知恵の目（知目）と知識に基づく実践（行足）があって初めて看護が完成されるという思いから、「和顔

と、看護師国家試験の受験資格を得ることができ、また、保健師や助産師養成機関の受験資格や、看護大学への編入学試験を受ける資格も得られます。

鳥山 本校は横浜市医師会が会の資産を供出し、横浜市と協力して運営しています。本校の使命は地域医療に貢献することのできる優れた看護師を市内の医療機関に送り出すことです。そのため、実習の場として市内を中心に多くの病院や訪問看護ステーション、福祉施設などと連携しています。また、

授業の講師陣は現役の医師や看護師、*コ・メディカルの方々にも協力していただいています。

カリキュラムは今後、超高齢社会がますます進む中で在宅の看護にも力を発揮できる看護師を養成することを主眼としています。そのため「退院を目指す看護」

だけでなく、「病院と在宅をつなげる看護」と「在宅での看護」も含めた3つの視点をカリキュラムに組み込みました。

*コ・メディカル…医師の指示の下に業務を行う医療従事者。具体的には、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士などを指す。

**もう一つの特長は
やはり、新たに
建設された校舎ですね**

鳥山 広くて明るくきれいな校舎（地下2階地上3階建）はどこも採光十分で、学生が自由に使える図書室や学習室を広く



設置し、各階でくつろげる学生ラウンジなど、学習しやすい環境を整えました。教職員と学生とのコミュニケーションがとりやすい少人数教育も特長で、実践的な指導を行うためにシミュレーション・ラボを備えた5つの看護実習室を整備。一般住宅を模した間取りで在宅患者の看護を学んだり、乳幼児を入浴させる技術などを学ぶ産科・小児科のスペースを設けました。

**至れり尽くせりの
設備ですが、
勉強は大変でしょうね**

鳥山 本校は単位制の看護専門学校ですが、基本的に「学年制」なので、毎年必要な単位を修得しないと進級できません。しかし、学生には看護師になりたいという明確な入学の動機があるため、卒業まで一生懸命勉強し、人間的にも成長します。

また、菊名校（横浜市医師会保土谷校（横浜市医師会保土谷看護専門学校）両校の卒業生の国家試験合格率は常に高く優秀です。入学年齢に制限はなく、性別も問わないので、定時制のクラスには午前中に病院や診療所などで働き、午後の授業を受けている学生もいます。

また、教職員から学ぶだけでなく、新入生には手本となる先輩がたくさんいます。主婦や年配の男性など、一般的

な専門学校にはない雰囲気があり、様々な年齢の人との交流によって世界が広がるのではないのでしょうか。同級生でありながら、「お父さん」とか「お母さん」と呼ばれている学生もいるようです（笑）。

**奨学金制度などは
ありますか**

鳥山 受給人数に限りがありますが、本校独自の修学支援制度として学費の貸付金制度があり、卒業後直ちに横浜市内の医



療機関に看護師として就労し、一定条件を満たせばその返還が免除されます。また、とくに成績が優秀な学生は特待生となり、年間授業料の2割が免除されることになっています。

**学校長として今後、
どのような抱負を
お持ちですか**

鳥山 日本が急速な超高齢社会を迎え、医療技術が日々進歩する中で、看護師は今後も確実に必要とされる職種であり、どんなに機械やコンピューターが発達しても代替できない心と体を癒す仕事です。その誇りを持ちながら本校でしっかり学んで資格を取得し、やりがいのある専門職として生涯活躍することを目指す、志のある方々の入学をお待ちしたいと思います。

所在地
横浜市鶴見区

〒045-7177-6633
下野台町3-88-6

進化する 病院

済生会横浜市東部病院(鶴見区) 質と効率を「一歩先」で実現

地域中核病院は、地域における救命救急や高度医療の拠点施設です。済生会横浜市東部病院は、市内東部でその役割を担うとともに、「一歩先」の最先端医療を取り入れて質や安全性、効率性を高めています。周囲の医療機関や地域社会との連携にも力を入れ、増加する医療ニーズに応えています。

済生会横浜市東部病院

鶴見区下末吉3-6-1
電話045-576-3000(代表)、
FAX045-576-3525、
ウェブサイト
<http://www.tobu.saiseikai.or.jp/>

- ◎設立 2007年3月
- ◎病床数 560床(一般病床466床、精神病床50床、重症心身障害児(者)施設44床)
- ◎診療科目 内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経内科、小児科、精神科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、消化器外科診断



済生会横浜市東部病院
みずみ たかひこ
三角 隆彦 院長

東部地域の中核として

横浜市には、市内6方面別に「地域中核病院」が設置されています。済生会横浜市東部病院は、鶴見区と神奈川区を中心とする東部地域の中核病院として2007年に開院しました。最重症の患者さんを24時間受け入れる、救命救急センターにも指定されています。同院を運営する神奈川県済生会は、神奈川区に

ある済生会神奈川県病院も長年運営しています。神奈川県病院は1965年に県交通救急センターに指定され、交通事故によるけが人の救急医療を担ってきました。東部病院は、そのノウハウと機能を引き継ぐ形で2014年、横浜市重症外傷センターにも指定されました。現在救急医療では交通事故など外因性、脳卒中や心筋梗塞など内因性の患者さんが非常に多くなっています。心臓や大動脈疾患には大動脈治療センター、脳卒中には脳神経センターを設け、専門医が24時間態勢で臨んでいます。

ちなみに神奈川県済生会は2018年、神奈川県病院から徒歩数分の場所に東神奈川リハビリテーション病院を新設し、この両院でも地域医療を担っています。

「二歩先」の医療

最先端医療を積極的に取り入れている点も、大きな特長です。当院の理念「医療を通じて生命を守る」を実現する手立ての一つが、「二歩先の医療」



TAVIによる施術の様子。2014年のTAVI導入により、合併症のある方など、これまで手術が難しかった患者さんも治療が可能となった。

「TAVI(タビ)」を県で2番目に導入しました。

日々の診療と並行して最先端医療を取り入れるには、長期的視点と周回準備が必須です。たとえばTAVIにおいては、私が心臓血管外科医なので状況を把握していたこともあり、導入2年前に専用のハイブリッド手術室を新設しました。また、当院の循環器内科医2人を、TAVI習得のため1年間欧州に留学させま

だと考えています。がん治療において、2011年に高精度ロボット型放射線治療装置「サイバーナイフ」を、12年には市内で初めて手術支援ロボット

「da Vinci(ダビンチ)」を設置しました。14年には、フランスで考案された心臓弁膜症の新治療法



した。日本では導入基準もない時期からこうした「先行投資」をし、トップレベルの大学附属病院に遅れることなく運用を開始しました。現在までに200人以上が、同院のTAVIで健康を取り戻しています。

2017年には、外傷患者の救命に必要な緊急処置が1カ所のできる治療室ハイブリッドERが完成。大幅な救命率の向上が期待されます。

精神科を有し、精神科救急や外来診察を行っているのも特徴です。高齢化社会の進行で認知症が増えています。総合病院内の精神科は、必要性が一層高まると思います。また、同建物内にある重症心身障害児(者)施設「サルービア」が44床の小規模ながらも総合病院の中にあること、また施設内に障害児の教育面として横浜市特別支援学校の分教室が置かれていることなどは珍しいといえるでしょう。

**患者さんの増加に
内部・外部から対応**

同院は開院から11年間で患者数が1.5倍に増えました。この課題への対策の一つが、効率化です。効率をよくすれば在院日数が短くなり、より多くの患者さんを受け入れられるからです。また、患者さん側の負

担も軽減されます。

一般に医療の質と効率性が高いほど、在院日数は短くなるとされます。当院のウェブサイトには、胃がんなど主ながんでの在院日数の短さが、全国ベスト3(2011年度)という実績が挙げられています。がん以外でも、当院の在院日数の短さは全国屈指です。

これに大きく寄与しているのが、先に挙げた最先端システム、そして多様な職種スタッフによるチーム医療です。在宅療養の準備が整わないなど、社会的要素で退院が遅れる場合があります。ソーシャルワーカーや事務職なども関わることで、在院日数を不必要に長引かせません。

こうした「内部努力」と並行し、外部すなわち地域との連携にも力を入れます。同院を退院した患者さんが地域の医療機関等に移行することで、



2018年の鶴見区災害医療訓練の様子＝横浜市東部病院

切れ目のない医療や地域包括ケアと同時に在院日数の短縮化を実現できるからです。

同院の患者数は、今後10年でさらに1.5倍になると予想されています。深刻な課題ではありますが、皆でポジティブに取り組んでいきます。

**地域ぐるみ体制の
中心として**

東部病院は災害医療拠点病院に指定されています。鶴見区では毎年同区災害医療訓練が実施されていますが、これは20

07年から院内訓練を行っていた当院が、周囲に協力を呼びかけたことから始まりました。

当日は、当院をメイン会場に複数会場で同一の状況想定のもと、複数の訓練を実施します。医療機関や医師会のほか区や警察、区社会福祉協議会や小学校、町内会など、2018年は約600人が参加しました。

地域に対しては、住民向けの公開講座、医療従事者向けの勉強会、現場を離れた看護師への再教育等の復職支援なども行っています。

また、ベトナムの医師の研修を受け入れたり、院内表示に英語と中国語を併記したりするほか、国際化へのより広い対応を今後考えています。

将来に向け、いろいろな種を少しずつ蒔いている東部病院。足元と前途とを見据え、地域の医療を支えています。

世界に誇れる日本の皆保険制度

他の国の保険制度はどうなっているの？

日本は明治維新以降、欧米諸国に学び近代国家を目指してきましたが、今では諸外国が羨むほどの保険制度を日本は作り上げたのです。2000年にはWHOが日本の医療制度をOECD加盟国中で「世界最高」と評価しています。日本と欧米諸国の保険制度を比べてみましょう。



横浜市医師会常任理事
藤倉 寿則 先生

国民全体を対象とする医療保険制度は、1938年国民健康保険法（旧国保法）が制定されたことが始まりです。第2次大戦後国民健康保険法（新国保法）1961年（施行）により現在の日本の保険診療の礎ができました。

日本の医療状況を世界と比較します。（OECD Health Statistics 2015より）

1. 男女とも平均寿命が

長く、乳幼児死亡率が低い。医療の質が世界トップクラス。

2. 高齢化していても医療費はOECD加盟国では中間くらいに抑えられている。
3. 保険証があれば保険医療を全国でいつでも受けられる。
4. CTやMRIの設備は他国と比較して圧倒的に多い。

乳児の死亡率が極めて低く、長寿で、安い医療費で質の高い医療を全国で受けられることは日本の医療制度の素晴らしい点です。日本の1/4程度しかCTやMRIがな

いイギリス・フランスでは、頭痛で受診しても「2か月後にMRI検査をしましょう」と言われてしまうかもしれません。

世界の医療制度は3つに分類できます。その違いを表にまとめました。

- 1つ目は日本・ドイツ・フランスが採用している「社会保険システム」。国民が医療保険に加入し、保険料を財源とするシステムです。表ではフランスは医療機関の選択が自由と書いてありますが、公的保険が使えないと現地の人が市内にはないと現地の人が聞いたことがあります。
- 2つ目は「国営システ

ム」。イギリスや北欧諸国が採用しています。登録医（家庭医）が診察したあとでないと専門医療機関へ受診できません。

日本のように自由に医療機関へ受診できません。

- 3つ目はアメリカで採用されている「民間保険システム」です。保険料が高額なため5000万人（人口の15%程）が健康保険に未加入で医療機関にかかることができませぬ。

急性虫垂炎の手術で200万円、通常の出産で60万円、帝王切開が必要だと600万円、入院4日間の交通事故で1400万円の請求事例がありま

す。集中治療室に入ると全財産を失う金額です。

日本の保険診療は法令により医療内容が規定されているため、「患者さんの希望する医療のすべて」を行うことは制度として認められていませんが、世界に誇れる素晴らしい制度なのです。医師

主要国の医療保険制度

		日本	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	
制度の概要	社会保険方式	国民皆保険	社会保険方式 国民の88%が加入	社会保険方式 国民皆保険	税方式による国営のサービス 全居住者を対象	メディケア・メディケイド 障害者や低所得者など一部の対象者	民間保険 加入希望者のみ
	自己負担	原則3割	自己負担なし	3割 償還制	自己負担なし	一定額まで自己負担	保険会社によりさまざま
財源	保険料	報酬の10% (労使折半)	報酬の15.5% (本人8.2%)	賃金総額の 13.85%	保険料なし	給与の2.9%	保険会社への掛け金
	国庫負担	国庫から16.4%	国庫より補助あり	国庫より補助あり	国庫補助なし	国庫より補助あり	国の補助なし
医療機関の選択	診療所 病院	自由 自由	自由 診療所からの紹介のみ	自由 自由	登録医のみ 登録医からの紹介のみ	指定される 指定される	保険会社指定 保険会社からの指定

会では医療制度を守るために努力をしています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

第7回市民公開講座 「正しい健康知識でますます元気に！」

① 視力1.5っていい目のの？

遠くが良く見えることの落とし穴

かとう眼科(港北区) 加藤 利博 先生

② 知ってました？ 子宮だって下がってくるんです。

骨盤臓器脱のコト

神奈川県警友会けいゆう病院(西区) 荒瀬 透 先生

③ CTとMRIの違い

横浜柏堤会戸塚共立第2病院(戸塚区) 本田 実 先生



**参加
無料**

申込不要、どなたでも
ご参加できます

30年6月14日(木)14:00~16:30 開場13:30 横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

中区桜木町1-1 JR桜木町駅、地下鉄桜木町駅徒歩1分

(主催)横浜市医師会

問合せ先 横浜市医師会学術広報課

☎045-201-7362

休日・夜間に急病になった場合は

休日の昼間はこちらへ

内科・小児科 診療時間：午前9時～12時 午後1時～4時		内科・小児科・※歯科 診療時間：午前10時～午後4時	
青葉区休日急患診療所	☎(045)973-2707	金沢区休日救急診療所	☎(045)782-8785
旭区休日急患診療所 ☎(045)363-2020		都筑区休日急患診療所 ☎(045)911-0088	
泉区休日急患診療所 ☎(045)801-2280		鶴見区休日急患診療所 ☎(045)503-3851	
磯子区休日急患診療所 ☎(045)753-6011		戸塚区休日急患診療所 ☎(045)861-3335	
神奈川区休日急患診療所 ☎(045)317-5474		中区休日急患診療所 ☎(045)622-6372	
港南区休日急患診療所 ☎(045)842-8806		西区休日急患診療所 ☎(045)322-5715	
港北区休日急患診療所 ☎(045)433-2311		保土ヶ谷区休日急患診療所 ☎(045)335-5975	
栄区休日急患診療所 ☎(045)893-2999		緑区休日急患診療所 ☎(045)937-2300	
瀬谷区休日急患診療所 ☎(045)302-5115		南区休日急患診療所 ☎(045)731-2416	

毎日の夜間はこちらへ

横浜市夜間急病センター ☎(045)212-3535 内科・小児科・眼科・耳鼻科：午後8時～午前0時	横浜市救急相談センター #7119 または ☎045-222-7119	①医療機関案内 24時間年中無休
横浜市北部夜間急病センター ☎(045)911-0088 都筑区休日急患診療所1階 内科・小児科：午後8時～午前0時		②救急電話相談 24時間年中無休
横浜市南西部夜間急病センター ☎(045)806-0921 泉区休日急患診療所 内科・小児科：午後8時～午前0時	横浜市歯科保健医療センター ☎(045)201-7737 休日・夜間救急歯科診療 休日診療：午前10時～午後4時 夜間診療：午後7時～11時	

午前0時以降における 初期救急診療は

※受診する際は、必ず事前に電話確認してください。

小児科(小児救急拠点病院)		内 科	
都筑区 昭和大学横浜市北部病院 ☎(045)949-7000	鶴見区 汐田総合病院 ☎(045)574-1011	西区 けいゆう病院 ☎(045)221-8181	
港北区 横浜労災病院 ☎(045)474-8111	西区 横浜中央病院 ☎(045)641-1921	中区 横浜中央病院 ☎(045)641-1921	
鶴見区 済生会横浜市東部病院 ☎(045)576-3000	保土ヶ谷区 聖隷横浜病院 ☎(045)715-3111	保土ヶ谷区 聖隷横浜病院 ☎(045)715-3111	
保土ヶ谷区 横浜市立市民病院 ☎(045)331-1961	旭区 上白根病院 ☎(045)951-3221	旭区 上白根病院 ☎(045)951-3221	
戸塚区 国立病院機構横浜医療センター ☎(045)851-2621	旭区 横浜旭中央総合病院 ☎(045)921-6111	旭区 横浜旭中央総合病院 ☎(045)921-6111	
中区 横浜市立みなと赤十字病院 ☎(045)628-6100	磯子区 汐見台病院 ☎(045)761-3581	磯子区 汐見台病院 ☎(045)761-3581	
港南区 済生会横浜市南部病院 ☎(045)832-1111	港北区 菊名記念病院 ☎(045)402-7111	港北区 菊名記念病院 ☎(045)402-7111	
	緑区 横浜新緑総合病院 ☎(045)984-2400	緑区 横浜新緑総合病院 ☎(045)984-2400	
	青葉区 横浜総合病院 ☎(045)902-0001	青葉区 横浜総合病院 ☎(045)902-0001	
	戸塚区 戸塚共立第1病院 ☎(045)864-2501	戸塚区 戸塚共立第1病院 ☎(045)864-2501	
	戸塚区 戸塚共立第2病院 ☎(045)881-3205	戸塚区 戸塚共立第2病院 ☎(045)881-3205	
	戸塚区 東戸塚記念病院 ☎(045)825-2111	戸塚区 東戸塚記念病院 ☎(045)825-2111	

ラジオ組 みんなの健康ラジオ

ラジオ日本 AM1422kHz
にて放送中です

毎週木曜日 午前11:05~11:10

(『Hello! I, Radio』内で放送)

※再放送は毎週日曜日午前5:40放送

磯子区休日急患診療所移転のお知らせ

4月8日から下記へ移転し診療を行っています

磯子区磯子1-3-13
(磯子警察署隣り)

JR根岸駅から徒歩15分

TEL: 045-753-6011

診療日：日曜・祝日、
12月30日~1月3日

診療科目：内科・小児科

診療時間：10時00分~16時00分



磯子区休日急患診療所